

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人 日本厚生学園 りんどう			
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～	令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の質の向上を目指している。	・定期的に勉強会を行い、情報共有を行っている。 ・ヒヤリハットを職員間で共有し、対策などを話し合っている。	・職員間での研修は継続しつつ、今後は外部の研修の機会を増やす。
2	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	・月に1回便りを発行し、行事予定等を発信している。	・SNSを活用することを検討する。
3	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持てるようにしている。	・子どもの状況を家族とやりとりをし、情報共有をしている。 ・家族等からの子育ての悩み等に対する相談があれば、面談や必要な助言と支援を行っている。	・外部の研修を受けることにより、支援の質の向上を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	・地域の子どもたちと公園などで触れ合う機会はあるが、活動まで至っていない。	・一緒に活動する機会について検討する。
2	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援が十分できていない。	・保護者同士の交流は、ペアレントトレーニングや野球観戦のときしかないという意見があった。	・家族等が参加できる交流の機会を考える。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営ができていない。	・以前は夕涼み会を行い、地域の方も招待していたが、現在は行っていない。	・地域の方も参加できる行事について検討する。